

川崎市立井田病院からのお知らせ

第63号

井田山 ～いだやま～

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。」

発行責任者 田邊 雅史

編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会

川崎市中原区井田2-27-1

電話 044-766-2188 (代)

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/index.html>

井田病院 中島洋介新病院長挨拶



このたび増田純一前病院長の後任として4月1日付で病院長に就任いたしました中島洋介です。市民病院運営の責任の重さを痛感するとともに、市民の皆様や職員のご期待に応えられるよう粉骨砕身の覚悟しております。

私は20年余の間、社会福祉法人恩賜財団済生会に勤務いたしました。2007年からは済生会横浜市東部病院の泌尿器科部長兼副院長あるいは院長補佐として高度急性期医療に係わってまいりました。この済生会での経験を活かしながら、今後は井田病院の運営を担っていく所存です。

当院は川崎南部医療圏の中核病院ですが、種々の特色ある医療活動を展開しています。1949年の開院以来結核病棟が設置され、現在でも川崎市内で唯一の結核入院設備を持つ病院です。1998年からは緩和ケア病棟が設置され、在宅医療にも力を入れています。さらに2006年には国の地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、診断、治療、緩和ケアと、切れ目のないがん診療を提供しております。

また、改築により2015年3月には外来と病棟が一新され、救急センター、内視鏡センター、化学療法センター、透析センターの機能が充実した383床の病院に生まれ変わりました。特に救急センターは、約3倍の診療スペースと救急車がすぐ横付けできる設備を整えました。これらの機能を今後は十分に発揮して、診療に取り組んでまいります。

当院は基幹型の臨床研修指定病院として、初期臨床研修医の受け入れや、新専門医制度に備えた整備を進めております。また、専門看護師や認定看護師取得支援など看護師教育にも力を入れており、病院職員の人材育成に引き続き努めてまいります。

今後とも地域の「かかりつけ医」の先生方との連携を強め、近隣の病院との機能分担を推進し、地域全体で市民の皆様が安心して質の高い医療を提供できるよう努力する所存です。

最後に、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



井田病院 武田副院長紹介



4月1日付けで副院長・看護部長を拝命いたしました武田です。川崎市へ入職以来、37年間を川崎病院で看護職として勤め、このたび井田病院へ異動してまいりました。「時々入院、ほぼ在宅」といわれる時代、たとえ先進的な治療を受けても治療には限界があります。これから看護師は、病と共に生きる患者に寄り添いながら、悩み、考え、病と上手な付き合い方を提供しなければなりません。井田病院の強みは地域と密着し、在宅医療支援や緩和ケアに強みを持っていることと認識しています。患者さんがよりよく生きるため、地域にバトンを繋ぐ看護師を育成し、チーム医療を強化するために取り組んでいきたいと思っております。



副院長・看護部長 武田 玲子



井田病院 新任医師紹介



くろやなぎ
畔柳 裕二
整形外科 担当部長



中村 哲也
外科 医長



柳澤 昌宏
泌尿器科 医長



加藤 薫
内科 副医長



長谷川 華子
呼吸器内科 副医長



猪狩 雄一
耳鼻咽喉科 副医長

市民公開講座のお知らせ

『身近に潜む食中毒対策』

井田病院感染対策室 感染管理認定看護師 井原 正人

一年を通じて、気温や湿度が高くなる梅雨時期以降は食中毒の発生件数が増加します！食中毒は飲食店などで食べる食事だけでなく、家庭や施設でも発生します。食中毒にはどんな種類があるのか？どんな事が原因で起こるのか？起きた際の症状は？

潜むリスクや予防するための対策をわかりやすく説明いたします。

日時 | 平成30年5月29日(火) 14:00～

定員 | 80名(当日先着)

会場 | 井田病院 2階会議室

参加費 | 無料 ※申込不要